



嘉麻赤十字病院

JAPANESE RED CROSS KAMA HOSPITAL

病院案内

病院の理念

人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり
地域に密着した温もりのある
質の高い医療の実践に努めます。

基本方針

1. 十分な説明と同意に基づく、わかり易い医療を提供します。
2. 地域の皆様に安全と安心の医療を提供し、信頼される病院を目指します。
3. 一般病棟、障がい者等の長期入院ができる病棟と異なる医療機能を併せ持つ病院として、特色のある総合的な医療を提供します。
4. 地域の医療、福祉、保健施設との連携を図り、最良のサービスを提供します。
5. 地域の皆様にとって安心していただける救急医療を提供します。
6. 災害・事故などへの救護救援活動を使命とし、医療社会奉仕に努めます。
7. 高い技術と豊かな人間性をあわせもつ医療人を育成します。

患者さんの権利と責務

1. 良質な医療を公平公正に受ける権利があります。
2. 人格を尊重される権利があります。
3. プライバシーを保障される権利があります。
4. 診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
5. 自分が受ける診療について、十分理解できるまで質問する権利があります。
6. 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意志を表明し、自ら決定する権利があります。
7. 診療に必要な自分自身の健康状態に関する情報を、できるだけ正確に医療提供者に伝える責務があります。
8. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、病院の規則を守る責務があります。

院長あいさつ



院長
波多江 健

嘉麻赤十字病院の歴史は古く、昭和13年に日本赤十字社山田診療所として発足、昭和23年に筑前山田赤十字病院となりました。旧山田町は、日本の産業を支えた筑豊炭田の南端に位置し、数多くの炭鉱で栄えた地域でした。昭和29年には山田市に市制移行。人口4万人を超え、活気にあふれた街だったと伺っています。当院は、筑豊炭田の産業を支える、地域にとってなくてはならない病院となりました。

しかし、産業構造の変革に伴い昭和40年代後半にはすべての炭鉱が閉山。病院のすぐそばを走っていた国鉄上山田線も昭和63年に廃線となっています。このころの人口は1万4千人ほどでしたが、その後も人口は減少が続いています。高齢化率も高く、嘉麻市全体の65歳以上人口はすでに40%を超え、今後も上昇することが予想されています。

山田市は平成18年、市町村合併で嘉麻市になり、当院も平成19年に嘉麻赤十字病院と名称変更されました。

このような時代変化に応じ、当院は地域の住民の方が住み慣れた地元で安心して生活ができるよう医療と介護の両面を備えた病院として整備されています。

急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、特殊疾患病棟を持つ許可病床135床のケアミックス型中規模病院です。外来は、嘉麻市内唯一の公的医療機関として、多くの診療科を備えています。入院に関しては、急性期に対応した一般病棟に加え、地域包括ケア病棟で回復期に対応しています。さらに、特殊疾患病棟では慢性期の疾患にも対応可能となっています。

地域医療連携室では、かかりつけ医との連携、中核病院との連携による最適な医療の提供をめざしています。診療部門だけでなく、介護サービスとしてデイケアセンター、訪問看護ステーション、24時間在宅ケアステーション(巡回訪問)、ケアプランセンターを設置し、途切れのない療養を提供できる体制となっています。また、健診部門では生活習慣病予防、人間ドック、乳がん検診、特定健診などを実施しています。

感染症のパンデミックの発生が今後も予想され、地震や水害といった災害も多発しています。いま、赤十字病院には、こういった非常事態への対応という役割をしっかりと見据えて活動していくことが求められています。この地域に赤十字病院が存在する大切な意義のひとつと考えています。

地域医療の抱える多くの問題の解決は容易ではありませんが、患者さんとご家族が安心して任せられる病院、患者さんにご家族に寄り添った医療で地域を支えてゆく所存です。

これからも、ますます地域の皆様に信頼され、愛される病院となるよう、職員一同努めてまいります。

概要

(令和7年1月時点)

【所在地】 〒821-0012 福岡県嘉麻市上山田1237番地
TEL 0948-52-0861 FAX 0948-52-1927

【病床数】 一般病床 135床

【診療科目】

・内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科
・神経内科・小児科・外科・肛門外科・整形外科・眼科
・精神科・耳鼻いんこう科・泌尿器科・皮膚科
・リハビリテーション科・放射線科

【付属施設】

嘉麻赤十字病院デイケアセンター
嘉麻赤十字訪問看護ステーション
嘉麻赤十字ケアプランセンター
嘉麻赤十字24時間在宅ケアステーション



地域の暮らしに密着した 温もりのある医療を心がけます。

主な診療部門

■ 内科

循環器、消化器、糖尿病内分泌、脳血管、その他疾患を中心とした内科一般の診療や、生活習慣病の治療をおこなっています。



■ 消化器内科

内視鏡室では消化管の検査・診断・治療をおこなっています。検査終了後は、直ちに鮮明な内視鏡画像入り検査報告書をお渡ししています。苦痛の少ない検査を受けていただく為、ご希望に応じて鎮痛剤・鎮静剤の注射もおこなっています。お気軽にご相談ください。



■ 小児科

一般小児科を中心とし気管支喘息・アトピー性皮膚炎などの診断・治療をおこなっています。また、各種予防接種を予約制にて実施しています。診察室横にはプレイルームがあり、多目的トイレにはベビークープを設置していますので、安心してご利用ください。



■ 外科

消化器疾患（食道・胃・大腸・肝・胆嚢・膵など）、乳腺疾患、ヘルニア、肛門疾患、肺疾患など外科全般にわたって診療をおこなっています。がんの治療にも力をいれ、がん化学療法や緩和ケアも積極的におこなっています。乳腺疾患に関しては、乳がん検診施設として、乳がんの早期発見に努めています。また、新たに女性放射線技師を採用し、羞恥心に配慮した検査ができるような体制を整えました。

■ 整形外科

骨折、脱臼、筋腱断裂など急性外傷の全般的治療や、変形性関節症、関節リウマチなどの慢性疾患、その他整形外科全般の診療及び治療をおこなっています。手術が必要となった場合、手術前からリハビリを開始することで活動能力の維持に努め、手術後も早期からリハビリを再開し、受傷前の活動レベルを目指しています。患者さんの早期在宅復帰を目指して、地域包括ケア病棟で集中的なりハビリをおこなっています。

■ 耳鼻いんこう科

耳鼻いんこう科では、アレルギー性鼻炎や難聴の検査、補聴器外来を行っています。大きないびきをかく、居眠り運転を起こしそうになる、日中眠いなどの症状でお悩みの方は睡眠時無呼吸症候群の検査を行っています。お気軽にご相談ください。



入院について

当院は、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、特殊疾患病棟を有する地域密着型のケアミックス病院です。地域の急性期治療に加え、その後の集中的なりハビリテーション、また医療依存度が高く療養生活が必要となる患者さんを受け入れる病院として、地域の実情に合った医療と介護の提供に努めています。また当院は「在宅療養支援病院」として、患者さんが住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、嘉麻赤十字訪問看護ステーションと連携しながら、緊急時は24時間対応ができ、いつでも入院ができるようベッドを確保しています。



患者さんの回復に向け、
専門職としての役割を十分果たします。

チーム医療

医師、看護師はもとより薬剤師や管理栄養士、リハビリスタッフなどが緊密な連携を取りながら、より良い医療・看護の提供を目指しています。

■ 合同カンファレンス

病院から在宅へ、住み慣れた地域での生活を支えるため、患者さん及びご家族・医師・看護師・ソーシャルワーカー等が退院後の生活について検討し、最善の医療を提供しています。



■ 褥瘡対策

褥瘡治療に豊富な知識と経験をもつ医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、看護師、管理栄養士、薬剤師などが協力し褥瘡発生の予防に努め、その危険因子を評価し、褥瘡の早期発見、早期治療をおこなっています。

■ 服薬指導

薬剤師が患者さんやご家族に対して、処方薬の効能、副作用、服用法、使用法、注意点などの説明やお薬の管理をおこなっています。



■ 個人栄養指導

管理栄養士が患者さんの病態に応じた栄養管理を適切に指導します。必要エネルギー、献立、調理方法、摂取時間等、嗜好に合わせ個別相談に応じます。



■ 医療相談

地域医療連携室の医療ソーシャルワーカーや看護師が、患者さんやご家族のご相談をお受けしています。入院・転院に関することや、福祉制度の利用や手続きに関すること、退院後の生活に関することなど、お気軽にご相談ください。



患者さんの身体的・精神的な自立を促し、
潜在能力を十分発揮し、充実した生活を
過ごせるようにサポートしています。

リハビリ体制

■ リハビリテーション

リハビリテーション室は経験豊富なスタッフが笑顔でお迎えし、落ち着いて訓練に取り組める環境です。理学療法士・作業療法士が運動療法を実施し、寝返りから歩行まで基本的な動作の維持・回復を図りながら、患者さんの療養生活を支え、社会復帰を援助します。



■ 言語指導

言語聴覚士が言語機能の改善とコミュニケーションの楽しさを取り戻して頂けるよう、援助しています。主に脳卒中後の言語障害（失語症・構音障害）、高次機能障害、嚥下障害に対し個人訓練を実施しています。

在宅部門の紹介

■ デイケアセンター

ご自宅で生活されている高齢者の方を対象に、趣味やレクリエーションを通じて心身の機能の維持回復を図るとともに、理学療法士・作業療法士による専門的なリハビリ指導が受けられます。



■ 訪問看護ステーション

ご自宅で療養されている方の心に寄り添い、自分らしく在宅生活を送れるよう支援しています。

■ 24時間在宅ケアステーション

24時間365日を通じて定期的な巡回訪問をおこない、日常生活のサポートや療養上のお世話をします。また利用者やご家族からの要請を受け、随時居宅を訪問し介護をおこないます。

■ ケアプランセンター

ご自宅で介護生活を受けられている方が住み慣れた地域で暮らせるように、ケアマネージャーが介護プランの作成など、要介護者とその家族の生活をサポートしています。

健康診断は「早期発見早期治療」が目的です。
また生活習慣病の予防としても
有効に利用できます。

健診部門

保健指導の充実や各種検査機器を備え、地域の皆様方の健康増進に少しでもお役に立ちたいと願っています。

■ 生活習慣病予防健診

当院は生活習慣病予防健診の実施指定医療機関です。オプションで各種検査も受けられるようになっていきますので是非ご利用ください。



■ マンモグラフィ検査

乳がんの早期発見のためにマンモグラフィ検査をお勧めします。マンモグラフィ検査精度管理中央委員会の認定を受けた放射線技師による撮影と認定を受けた医師による診断をおこなっています。



■ 骨密度検査

骨がもろくなると軽く転倒ただけで骨折してしまいます。骨密度検査は骨の状態を正確に測定できますので骨粗しょう症の予防や治療に役立ちます。検査時間は5分程度です。



■ 動脈硬化検査

自覚症状が現れにくい動脈硬化は、放置すると血管内にプラーク（かたまり）ができやすくなり、心筋梗塞や脳梗塞の要因となります。動脈硬化検査では、動脈の硬さや詰まりの程度を検査して血管年齢を判定したり、エコー検査により血管内のプラークを調べたりすることができます。

検査機器

■ オープン型MRI (磁気共鳴画像)装置

磁気と電磁波を使用して身体の色々な断面を撮影し体内を調べることができます。VSRADを導入し、脳の萎縮による認知症の解析も行えます。放射線を使用しないため被ばくの心配はありません。当院のMRIはオープン型で開放感があり、一般のMRIよりも圧迫感の少ない環境で安心して検査が受けられます。



■ CT (コンピュータ断層撮影)装置

X線で頭部、胸部、腹部などを撮影して、コンピュータ画像処理により身体の断面図(輪切り)や骨の立体画像などを作成します。比較的小さな病変、頭の出血性病変など病気の早期発見に役立つ検査です。



■ 超音波(エコー)診断装置

超音波という人の耳には聞こえない音波を出す機械(プローブ)を身体に当て、身体の表面から臓器を観察します。痛みや被曝のない検査なので、小さなお子さんから御高齢の方、妊娠中の方も安心して受けられます。健康診断や治療判定、定期的な経過観察など、多くの診療に用いられています。当院では検査技師が、腹部・心臓・血管(頸動脈、下肢)・表在臓器(乳腺や甲状腺など)の検査をしています。



赤十字の理念に基づき、
個人の尊厳と権利を尊重し、地域のニーズに応え、
誠実な看護・介護を提供します。

看護教育

■ 新人研修

新入職員が看護師として必要な知識・技術の習得や職場適応が自己のペースでできるよう指導者が支援します。



■ 看護部研修

生命と健康を守り、患者・家族の思いを大切にできる看護の提供を目指してキャリア開発ラダーに沿った研修を企画・開催しています。オンデマンド研修等も活用し、高度な知識・技術の習得に努めています。学びなおしを希望される方へは経験を問わず、研修プログラムへの参加を勧めています。



また、看護研究は福岡県立大学の指導を仰いで、病院研究発表会や各学会で発表しています。

■ 臨地実習指導

看護実習生の看護基礎教育における臨地実習施設としての役割を担っています。



〈主な実習受入れ校〉

- ・ 日本赤十字九州国際看護大学
- ・ 福岡県立大学
- ・ 飯塚医師会看護高等専修学校
- ・ 専門学校麻生看護大学校
- ・ 近畿大学附属福岡高等学校

赤十字病院の使命として、
災害時における医療救護活動や救急法などの
講習普及活動を通して社会に貢献しています。

赤十字としての活動

■ 災害救護活動

地震、台風、大雨などの自然災害、さらには飛行機事故や列車事故などの被災者に対して、医師、看護師を中心とした救護班要員を現地に派遣し、迅速な救護を展開します。
また、日頃から災害救護に必要な訓練をおこなっています。



■ こころのケア

災害は人々の生命や財産に多くの被害を与えますが、同時に心理的側面(こころ)にも大きな傷を残します。そこで、災害救護の1つとして、被災者の不安やストレスなどの予防と軽減を図る「こころのケア」に取り組んでいます。



■ 講習普及

「人間の苦痛を予防・軽減し、生命の尊厳を確保する」という赤十字の基本的理念を、具体的な知識や技術として一般の人々に広めるために、「救急法」、「健康生活支援講習」、「幼児安全法」などの講習をおこなっています。



嘉麻赤十字病院

JAPANESE RED CROSS KAMA HOSPITAL

〒821-0012 福岡県嘉麻市上山田1237番地
TEL.0948-52-0861 FAX.0948-52-1927
URL <https://www.kama-jrc.jp>

【HPはコチラ】 【診療担当医表はコチラ】



【交通アクセス】

- お車でお越しの方
駐車場：約 120 台(無料)
- JRをご利用の方
JR 桂川駅(筑豊本線・篠栗線)から車で約 20 分
JR 新飯塚駅(筑豊本線)から車で約 30 分
- バスをご利用の方
西鉄バス「大橋」バス停から徒歩5分
嘉麻市バス「日赤病院前」バス停から徒歩3分
嘉麻市バス「日赤病院」バス停から徒歩1分